

《基本方針5 健康で安全な環境を育むまち（良好な生活環境の保全）》

《基本目標1 さわやかな大気環境を保全します》

【数値目標】

No.	項目	単位	現況値	目標値		関係課
			24年度	28年度	33年度	
22	大気の汚染に係る環境基準達成率（二酸化窒素）	%	100	100	100	環境保全課
23	大気の汚染に係る環境基準達成率（一酸化炭素）	%	100	100	100	環境保全課

【施策の実施状況】

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	24年度実績	関係課
1 さわやかな大気環境を保全します	大気汚染常時監視設備整備事業	大気汚染常時監視に必要な測定機器の整備（更新）を計画的に行い、大気の汚染状況を監視する。	<ul style="list-style-type: none"> ○テレメータシステムソフト改修業務委託 ○風向風速自動測定記録計更新（鴨池局） ○PM_{2.5}自動測定記録計設置（喜入局） ○エアコン更新（赤水局） 	環境保全課
	光化学オキシダントに関する県との連携による広域監視体制の強化	「鹿児島県光化学オキシダント緊急時措置要綱」に基づく情報伝達に係る手順及び周知体制を確認するため、県が各市町と合同で実施する訓練に参加する。	訓練参加 【開催日：4月27日】	環境保全課
	大気保全対策事業	工場・事業場の監視、規制、指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ばい煙発生施設の燃料採取やばい煙測定（4事業所）を行った。 ○全事業所で規制基準に適合 	環境保全課
	アイドリングストップ運動	鹿児島市環境保全条例に基づき、500㎡以上の駐車場設置者等の看板等によるアイドリング・ストップ周知、市民のアイドリング・ストップの推進を図る。	市民のひろば、チラシの配布、公害防止事前協議を通じて、市民や事業者へアイドリング・ストップの取組みを周知させた。	環境保全課
	大気保全対策事業	悪臭を発生する事業者への規制、指導を行う。	悪臭発生事業者（4事業所）への立ち入り調査や臭気測定を行い、規制基準に適合しなかった事業所に改善指導を行った。	環境保全課

《基本方針5 健康で安全な環境を育むまち（良好な生活環境の保全）》

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	24年度実績	関係課
1 さわやかな大気環境を保全します	大気保全対策事業	酸性雨の実態を調査する。	市役所と保健急病センターの屋上で雨水を集め、週に1回測定を行った。	環境保全課
	エコドライブの推進	エコドライブシミュレーション機器を使用して多くの市民にエコドライブを体験してもらうことで、エコドライブの普及促進を図る。	エコドライブ体験コーナー 【24年度体験人数：133人】	環境政策課
	アイドリングストップ等の徹底	アイドリングストップ等を活用し、エコドライブに努めることにより、燃料費の削減を図る。	アイドリングストップ等を活用したエコドライブに努めた。	バス事業課

《基本方針5 健康で安全な環境を育むまち（良好な生活環境の保全）》

《基本目標2 良好な水環境を保全します》

【数値目標】

No.	項目	単位	現況値	目標値		関係課
			24年度	28年度	33年度	
24	水質保全目標達成率	%	100	100	100	環境保全課

【施策の実施状況】

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	24年度実績	関係課
2 良好な水環境を保全します	公共用水域の監視・調査	市内の河川水質調査	6河川及び市内を流れるその他の2級河川の水質調査を行った。 ○全地点において水質保全目標値を達成	環境保全課
	水道水源上流域の監視調査	水道水源上流域の監視調査	毎月、監視及び水質調査を実施した。	配水管理課
	水質汚濁防止対策事業	工場・事業場の排水を調査する。	工場・事業場への排水規制を行い、特定事業場等への立入検査等を行った。 対象事業場数 : 87か所 立入回数 : 151回 指導件数 : 10件	環境保全課

《基本方針5 健康で安全な環境を育むまち（良好な生活環境の保全）》

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	24年度実績	関係課
2 良好な水環境を保全します	飲食店など食品及び環境衛生関係業者の排水対策指導、広報・啓発	鹿児島市食品衛生法施行条例に基づき、廃棄物及び排水を適切に処理するよう指導する。	監視指導時に随時、指導を行った。	生活衛生課
	河川上流域の事業場排水対策	水源上流の事業場等の水質保全についての指導及び要請	浄水場の取水口より上流域の工場や事業場へ河川水質保全を文書で依頼した。	配水管理課
	浄化槽整備補助事業	汚水処理施設整備交付金等を活用し、既存の住宅又は既存の集会施設に浄化槽を設置する者に補助金を交付する。	合併処理浄化槽の設置者に対し補助金を交付した。(505基) うち、単独処理浄化槽からの転換287基、汲取り便槽からの転換209基であった。	環境保全課
	浄化槽関係管理・指導事業	浄化槽設置者、工事業者、維持管理業者、使用者に対する指導を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与する。	浄化槽の設置、維持管理に関する以下の業務を行った。 ○浄化槽設置届の審査・現地調査 ○浄化槽工事の完了検査 ○維持管理の徹底指導 ○法定検査結果に係る改善指導	環境保全課
	水質汚濁防止対策事業	生活排水対策の広報啓発を行う。	○生活排水対策のパンフレットの配布を行った。 ○本庁・各支所の石けん展示コーナーでの石けん製品の常設展示を行った。 ○廃食油から作った石けんを各種イベント時に配布した。 ○廃食油石鹸148個を購入	環境保全課
	公共下水道の計画的整備	快適な生活環境の確保を図るため、市街化区域内の未整備地区の計画的な整備や、他事業の進捗に合わせた計画的な整備を行う。	公共下水道未整備地区へ污水管の布設を行った。	下水道建設課
	公共下水道への接続の指導・啓発	公共下水道の目的を達成するため、整備済の地域において接続の勧奨を行う。	毎月、職員及び水洗化普及促進員が市処理区内の未水洗家屋に対して公共下水道への接続勧奨を行った。 【訪問件数：8256件】 9月10日に「下水道の日」に関連して平成24年度整備地区の光山団地・西谷山団地と低宅地住宅の未水洗家屋に対して接続勧奨し啓発活動を行った。 【訪問件数：300件】	下水道管路課
	河川汚濁事故対策	河川水質保全の広報・啓発に努める。	市民のひろば等を通じて、市民や事業者等に油や塗料等の適正な使用、廃棄等の周知を行った。	環境保全課

《基本方針5 健康で安全な環境を育むまち（良好な生活環境の保全）》

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	24年度実績	関係課
2 良好な水環境を保全します	調整池及び河川、水路の清掃・美化	調整池及び水路等の浚渫のほか、調整池及び河川、水路等の除草を行う。	調整池及び水路等の浚渫や調整池及び河川、水路等の除草を行った。 【実施箇所：小山田川、荒田川など】	河川港湾課
	河川水路維持事業	河川水路施設（調整池、水路等）の浚渫・清掃等を行い、河川水路の環境美化を図る。	団地の調整池や水路等の浚渫及び河川の護岸除草を実施して河川水路の美化の推進を図った。	谷山建設課
	河川汚濁の事故処理	河川への油流入対策	油流入事故が発生したので、活性炭吸着処理を行った。	管配水課
	地下水使用状況の調査	環境保全条例に基づく地下水揚水量等を把握する。	環境保全条例に基づく地下水揚水量報告により、本市の地下水利用の実態を把握した。	環境保全課
	万之瀬川水源基金への助成	万之瀬川水源基金への助成	万之瀬川水源基金への助成：7,785千円	総水道局
	水の適正利用についての指導・啓発	水の有効利用に対する周知	「水の週間」にあわせて、国・県などと連携をとりながら、懸垂幕やポスター掲示などにより水の有効利用に対する周知を行った。	政策推進課
	個人住宅雨水貯留施設等設置助成事業	市域内の個人住宅において、雨水貯留施設等を設置する者に助成金を交付することで、雨水の流出抑制を推進し、都市型水害の軽減を図るとともに、雨水利用の促進及び地下水のかん養に寄与する。	個人住宅雨水貯留施設等設置の助成事業を実施した。 【設置個数：1,267個】	河川港湾課
	公園、広場の雨水貯留施設の設置	公園の多目的広場に表面貯留による雨水貯留施設を設置する。	かけごし公園や広木第3公園、下花棚早馬迫公園に雨水貯留施設を設置した。	公園緑化課
	湾内への流入河川及び海域調査	河川及び海域の水質調査を行う。	6河川及び市内を流れるその他の2級河川の水質調査や一部海域の水質調査を行った。 ○全地点において水質保全目標達成（海域についても良好であった）	環境保全課
漁場環境の保全・汚染防止の指導	県の魚類養殖指導指針を順守する様指導する。	県の魚類養殖指導指針を順守するよう指導を行った。	生産流通課	

《基本方針5 健康で安全な環境を育むまち（良好な生活環境の保全）》

《基本目標3 化学物質による環境汚染を防止します》

【数値目標】

No.	項目	単位	現況値	目標値		関係課
			24年度	28年度	33年度	
25	ダイオキシン類の環境基準達成率（大気）	%	100	100	100	環境保全課
26	ダイオキシン類の環境基準達成率（河川水質）	%	100	100	100	環境保全課
27	ダイオキシン類の環境基準達成率（河川低質）	%	100	100	100	環境保全課
28	ダイオキシン類の環境基準達成率（地下水質）	%	100	100	100	環境保全課
29	ダイオキシン類の環境基準達成率（土壌）	%	100	100	100	環境保全課

【施策の実施状況】

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	24年度実績	関係課
3 化学物質による環境汚染を防止します	水質汚濁防止対策事業	河川の常時監視	環境基準点及び補助地点において、毎月水質調査を行った。	環境保全課
	大気保全対策事業	有害大気汚染物質による汚染状況の実態を把握する。	一般大気汚染測定局の市役所局において、2ヶ月ごとに1回、有害大気汚染物質モニタリング調査を行った。 ○環境基準及び指針値が設定されているベンゼン等の物質は、すべて基準等を達成	環境保全課
	大気保全対策事業	有害大気汚染物質のうち人の健康に係る被害を防止するため、その排出又は飛散を早急に抑制しなければならないもので大気汚染防止法施行令で定められた施設を設置するものに対し、規制を行なうことで、大気環境の保全を推進する。	公害防止事前協議353件のうち、施設設置が判明した事業者に対し、届出指導等を行った。	環境保全課

《基本方針5 健康で安全な環境を育むまち（良好な生活環境の保全）》

基本 目標	事務・事業名	事務・事業の概要	24年度実績	関係課
3 化学物質による環境汚染を防止します	廃棄物適正処理指導事業	市ホームページ等を通じて、特別管理産業廃棄物の適正処理について啓発を行うとともに、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管事業所に対して、保管状況等の届出を求めるとともに、適正保管の指導を行う。	P C B廃棄物保管状況届出：125件 P C B廃棄物保管事業者立入：16件	廃棄物指導課
	下水道法に基づく立入検査	下水道処理区域内の規制対象事業場について、排水の水質検査及び除害施設の適正な運転を指導することにより、環境への負荷を軽減する。	規制対象事業場に対し、水質試験を実施した。また、処理の安定していない事業場については、除害施設の適正な運転について指導・助言を行った。 【水質試験数：196回 事業場立入回数：302件】	下水処理課
	化学物質の適正な使用・保管及び廃棄の指導	P R T Rに関する届出受付業務	P R T R法に基づき、対象化学物質に関する届出受付業務を行った。 【118件】	環境保全課
	化学物質の適正な使用・保管及び廃棄の指導	下水道処理区域内の有害化学物質使用事業場に対して、薬品の使用状況や廃液等の処分状況を調査し、使用・保管・処分について適正に指導することにより、有害化学物質が下水道へ流出する事故を防止する。	有害化学物質使用事業場に対し、有害化学物質の使用状況・処分方法の聞き取りを行い、適正な使用・保管・処分方法を指導した。 【有害物質使用状況調査事業場数：15件】	下水処理課

《基本方針5 健康で安全な環境を育むまち（良好な生活環境の保全）》

《基本目標4 騒音のない環境を保全します》

【数値目標】

No.	項目	単位	現況値	目標値		関係課
			24年度	28年度	33年度	
30	騒音に係る環境基準達成率（昼間）	%	95.7	100	100	環境保全課
31	騒音に係る環境基準達成率（夜間）	%	95.7	100	100	環境保全課

【施策の実施状況】

基本目標	事務・事業名	事務・事業の概要	24年度実績	関係課
4 騒音のない環境を保全します	騒音振動防止対策事業	一般環境地域10地点において騒音調査を行う。	一般環境地域10地点において騒音調査を行った。 ○1か所、夜間の環境基準を超過したほかは、環境基準を下回っていた。	環境保全課
	騒音振動防止対策事業	騒音・振動の特定施設設置届出等提出時に騒音・振動防止について指導する。	特定施設設置届出40件について、提出時に騒音・振動防止について指導した。	環境保全課
	騒音振動防止対策事業	道路に面する地域8地点において騒音調査を行う。	道路に面する地域8地点において騒音調査を行った。 ○3地点において、昼間・夜間とも環境基準を上回った。 （うち1地点は、昼間・夜間とも要請限度も上回った）	環境保全課
	舗装新設改良事業	舗装路の新設改良により、騒音・振動の軽減を図る。	交通量の多い路線等において、低騒音効果のある排水性舗装を行った。 【小松原山田線ほか2路線】	谷道山路建設課
	騒音防止啓発	事業者等に騒音防止のパンフレットを配布し、騒音防止の啓発を図る。	事業者等に騒音防止のパンフレットを配布し、騒音防止の意識啓発を図った。	環境保全課